

あの牛飼いは死んだ

高木庸子

あの牛飼いは死んだ  
原発さえなければ  
と言ひ残して  
牛たちは訳も知らずに  
無駄に死んだ

わたしは黙って  
土をはぎとり、ひまわりを植え  
地面の復活を祈った  
芽吹き of 春のほほえみ迄  
泣いてるいとまはないから

わたしは黙って  
果実をもぎ、葉を刈り取り  
地中深く埋葬した  
豊穡の神のほほえみ迄  
泣いてるいとまはないから

百姓では無い全ての人も  
牛飼いではない全ての人も  
皆、しなければならぬ事をする  
土と、海と、森と笑う声がある  
穏やかな日々を取り戻すために